

J A 自己改革推進レポート（J A 鳥取いなば） 6月号

（1）中学生向けの自転車交通安全教室開催

J A 鳥取いなばと J A 共済連鳥取は 5 月 14 日、鳥取県智頭警察署と連携し、八頭郡智頭町の町立智頭中学校で、自転車交通安全教室を開いた。全生徒 127 人の前で、プロのスタントマンが自転車での見通しの悪い交差点での事故など、実際に起こった事故を迫真の演技で再現した。生徒に事故の危険性を体感してもらい、交通ルールを守って安全に利用することの重要性を伝えた。



（2）小学生が梨の摘果作業に挑戦

J A 鳥取いなば岩美支店は岩美南小学校と協力し、毎年 3 年生を対象に梨の栽培体験を行っている。同校の梨園で 5 月 16 日、摘果作業を行った。J A の担当者が、摘果するべき蕾の基準を指導すると、児童たちは真剣に蕾の状態を見て、作業を行っていた。



（3）令和元年度子ども農業教室開校

J A 鳥取いなばは 5 月 18 日、子ども農業教室を開校し、同 J A 管内の園児や小学生ら 34 人が入校した。食農教育の一環として平成 17 年に開始して以来、最多の参加人数となった。講座は、野菜・水稻・果樹・畜産について体験や見学を行うカリキュラムで、年間 10 回を予定。講師は、地域の生産者や J A 営農指導員が務める。



（4）田植えで食育活動

J A 鳥取いなば河原支店は 5 月 28 日、市立散岐小学校の 5 年生 14 人と一緒に、田植え体験を実施。河原町の生産者の水田で、目印の付いた紐に沿って「ミルキークイーン」を手植えた。秋には、児童たちが稲刈りや脱穀、調理実習を行う予定で、その際も河原支店が協力する予定。

